

2015年8月31日

三菱UFJニコス株式会社

## 三菱UFJニコス、ジャパンミートグループ「肉のハナマサ」に 訪日外国人向け“外貨建てカード決済サービス”を導入！

～食品スーパーでの取り扱い、免税店舗の銀座店と新川店から順次、9月1日スタート～

三菱UFJニコスはこの度、ジャパンミートグループの株式会社花正（東京都港区、代表取締役社長 藤原健一）が運営する食品スーパー「肉のハナマサ」に、訪日外国人向けの外貨建てによるカード決済サービス「DCC（ダイナミック・カレンシー・コンバージョン）決済サービス」導入を決め、9月1日に銀座店と新川店でその取り扱いを開始します。

「肉のハナマサ」は、都心部を中心に首都圏で55店舗（フランチャイズ店含む）を展開する食品スーパー。昭和58年に一号店を銀座にオープンして以来、「業務用スーパー」「プロ仕様の店」を標榜する一方、家庭用のPB（プライベートブランド）商品など業務用に留まらない豊富な品揃えに定評があります。

同社は今般、急増している訪日外国人のサービス拡充を目的に、免税店舗であり都心の好立地に位置する2店（銀座、新川）への「DCC決済サービス」導入を決めたものです。なお、同社は今後、免税店舗を中心に同サービスの取り扱い店舗を順次拡大していく予定です。

「DCC決済サービス」は、日本国内において海外発行カード（VisaとMasterCard®）による外貨※建てでの決済を可能とする仕組みで、当社運用のクラウド型マルチ決済システム「J-Mups（ジェイマップス）」導入加盟店で利用可能。これにより、訪日外国人は店頭で「自国通貨建て」での支払いを選べば、為替変動を心配することなく、支払い金額を確定できるものです。

※ 米ドル、韓国ウォン、豪ドル、台湾ドル、ユーロなど19通貨

「肉のハナマサ」は既に直営全50店で「J-Mups」を採用し、クレジットカードをはじめ、銀聯カード、交通系電子マネー、iD（アイディ）、QUICPay（クイックペイ）など、来店客の多彩な決済ニーズに対応しています。また、同社は新たに電子マネー「楽天Edy（エディ）」の導入も決めており、同日（9月1日）に直営全店でその取り扱いを開始します。

当社は、東京オリンピック・パラリンピックが開催となる2020年に向け、今後も訪日外国人向けの決済サービスの環境整備に注力していきます。

### <DCC決済サービスの概要>

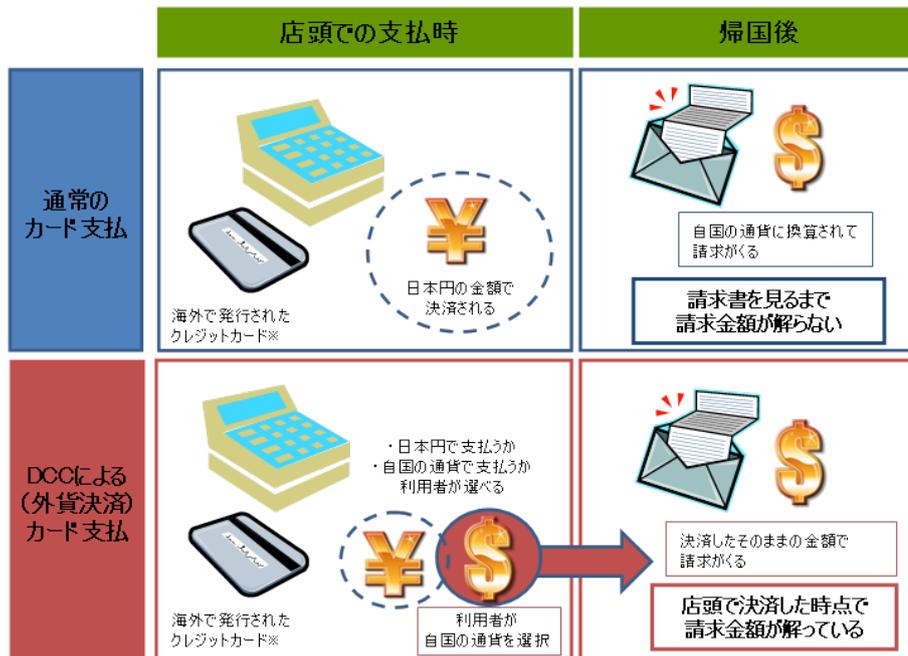
1. 対象取引： 海外発行のVisa、MasterCard®カード会員によるカード決済
2. 対応通貨： 19通貨（米ドル、韓国ウォン、豪ドル、台湾ドル、ユーロ、香港ドル、シンガポール・ドル、英ポンド、タイ・バーツ、カナダ・ドル、マレーシア・リングギット、ベトナム・ドン、ロシア・ルーブル、スイス・フラン、インド・ルピー、フィリピン・ペソ、インドネシア・ルピア、スウェーデン・クローナ、UAE・ディルハム）

以上

<参考資料>

■ご利用イメージ

## DCC決済サービスの利用イメージ



※請求通貨がUSドルのクレジットカードの例

■クラウド型マルチ決済システム「J-Mups(ジェイマップス)」の主な特長

- (1) 拡張性: クレジットカード・銀聯カード・J-Debit(ジェイデビット)・各規格の電子マネー(交通系、iD、QUICPay、楽天Edy等)といった各種決済サービスに対応可能。加盟店独自のポイントプログラムやクーポン等のサービス機能も搭載できる。訪日外国人向けの「外貨建てカード決済サービス」にも対応。
- (2) 低価格: 従来端末に比べ低価格。インターネット回線を利用することで通信コストの削減も実現。
- (3) 高セキュリティ: 端末側にセンシティブ情報を残さない安全性に優れた設計。PCI-DSS準拠認定。
- (4) 高速処理: クレジットカードの処理速度が1~2秒(一般的なアナログ回線の場合10~20秒)

\*「楽天Edy」は楽天Edy株式会社が運営するプリペイド型電子マネーサービスです。

\*「おサイフケータイ」「iD」は株式会社 NTTドコモの登録商標または商標です。

\*「QUICPay」は株式会社ジェーシービーの登録商標です。

以上